

2023年4月11日掲載 輸送経済新聞

各地で入社式

第一貨物

新しい大きな力期待

第一貨物(本社・山形市、米田総一郎社長)は1日、山形市で入社式を開催。米田社長は訓示で「内製化、自社化によるコスト構造改革と飛躍的業務拡大に向け社員一丸で取り組んでいる。皆さん148人という一大勢力。新しい大きな力に期待している」と伝えた。

同社は今年度、事務職50人、運転職54人、整備職6人、ロジオペ職38人の計148人(22年度比40人増)の新入社員を迎えた。足元で物価上昇が続く中、初任給は約4%アップし、従業員の給与も4%アップする。来年3月には、老朽化した中央研修所(山形県天童市)を建て替え、しゅん工するなど、採用・育成を強化している。

米田社長は、光熱費・人件費を含むコスト増への対応の必要性に加え、



「より良い会社へ一丸となって頑張ろう」と米田社長

業務拡大に向けては「本格的な倉庫営業に踏み込む。札幌、埼玉、千葉に新たな倉庫を構え、新たに3つのロジ支店を開設

「より良い会社となるため、やるべきことはたくさんある。皆さんと力を合わせ、今日から仲間として一丸となって頑張ろう」と話した。

(矢田 健一郎)